

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 効果検証シート

(単位:円)

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	総事業費 (実績額)	事業の効果検証
合計						186,708,945	
1	単	新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金	①感染症の拡大を阻止するため、三重県が行う緊急事態措置による休業要請・依頼に全面協力いただける中小企業・小規模事業者(個人事業主を含む)に対して、三重県・木曽岬町が協調して協力金を交付する。 ②三重県が行う緊急事態措置による休業要請・依頼に全面協力いただける中小企業・小規模事業者(個人事業主を含む)に対して、県・町が協調して協力金を交付する経費。 ③三重県からの請求に基づき、町負担分を県に納付	R2.4	R3.3	9,500,000	三重県が行った緊急事態措置による休業要請・依頼に全面協力いただいた中小企業・小規模事業者(個人事業主を含む)に対して協力金を支給することで、事業継続の支援が図られたとともに、感染拡大防止に繋がった。
2	単	子育て世帯への臨時特別給付金事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている子育て世帯に対し、生活支援の目的として町独自の給付金を給付する。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている子育て世帯に対し、町独自の給付金を給付する経費 ③中学校卒業まで(15歳に達した後最初の3月31日まで)の児童を養育する保護者	R2.6	R2.11	6,411,171	子育て世帯に対して給付金を給付したことで、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ることができた。
3	単	ひとり親等世帯への臨時扶養手当給付金事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているひとり親等世帯に対し、生活支援の目的として町独自の扶養手当給付金を給付する。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているひとり親等世帯に対し、町独自の扶養手当給付金を給付する経費 ③町内在住のひとり親等世帯 35世帯50人	R2.6	R2.11	500,511	ひとり親等世帯に対して給付金を給付したことで、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ることができた。
4	単	図書館パワーアップ事業	①町立図書館の蔵書数を増やすことで利用者が在宅時間を有意義に過ごし外出抑制を図る。 ②図書館の蔵書数を増やすための書籍購入に係る経費 ③—	R2.6	R3.3	9,850,333	町立図書館の蔵書数を増やしたことで、利用者の在宅時間を有意義に過ごしていただき、外出抑制を図ることができた。
5	単	水道基本料金減免事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出自粛に伴う生活支援及び経済的負担の軽減から、事業者及び町民の水道基本料金を6か月間免除する。 ②水道事業会計に繰り出し、水道基本料金の減免に係る費用 ③町内全ての水道利用者(一般家庭・事業者)	R2.6	R2.12	18,250,000	町内の水道利用者に対して基本料金を6か月間免除したことで、外出自粛に伴う生活支援及び経済的負担の軽減を図ることができた。
6	単	給食費減免事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出自粛に伴う生活支援及び経済的負担の軽減から、こども園、小・中学校の給食費を6月から11月まで6か月間免除する。(8月分は日割り算定@240円×6日) ②給食費の減免に係る費用 ③こども園、小・中学校に通う全世帯	R2.6	R2.12	10,221,328	町内認定こども園及び小中学校の給食費を6か月間減免したことで、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ることができた。
7	単	公共的空間安全・安心確保事業	①新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、公共施設に飛沫感染防止パネル、非接触式体温計、その他庁舎使用のコロナウイルス対策消耗品を購入する。 ②コロナウイルス対策に係るパネル・体温計・消耗品等購入に係る経費 ③木曽岬町役場	R2.6	R3.3	3,037,870	公共施設において飛沫感染防止パネル等を設置することで、来庁者及び職員への感染防止・感染拡大防止に繋がった。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (実績額)	事業の効果検証
8	単	必需物品供給事業	①新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、町内全世帯に不織布マスクを配布する。 ②不織布マスクの配送に係る経費 ③—	R2.5	R2.5	319,799	町内全世帯に対して不織布マスクを配布したことで、町民の感染防止・感染拡大防止に繋がった。
9	単	高齢者世代への臨時地域活性化事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている高齢者世代を対象に、生活支援と地域の活性化を目的として町独自の商品券を配布する。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている高齢者世代を対象に、町独自の商品券を配布する経費 ③町内在住の高齢者 70歳～87歳1435人、88歳以上149人	R2.8	R2.9	3,745,627	高齢者世代に対して商品券を配布したことで、高齢者世代への生活支援と町内の活性化を図ることができた。
10	単	防災活動支援事業	①避難所での衛生環境を保つために、消毒薬や段ボールベッド、間仕切り版など感染拡大防止対策に必要な備蓄品を購入する、 ②避難所での感染症拡大防止対策に必要な備蓄品購入に係る経費 ③指定避難所14箇所	R2.10	R3.3	3,753,376	避難所運営に必要なパーティション等を購入したことで、避難所の開設時における感染対策が可能となった。
11	単	防災無線親卓更新	①コロナ禍における注意喚起等を円滑に行う為に、情報伝達の根幹である防災行政無線を活用し、アプリ、メール、広報無線等の伝達手段を一元管理(情報連携)できるようにシステム更新を行う。 ②防災行政無線システムの更新委託に係る経費 ③防災行政無線	R2.12	R3.10	42,240,000	防災行政無線システムを更新したことで、コロナ禍における注意喚起等を円滑に行う為にアプリ、メール、広報無線等の伝達手段を一元管理(情報連携)することが可能となった。
12	補	公立学校情報機器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①GIGAスクール構想を進めていく上で、教育委員会事務局に対する技術的支援を行う「GIGAスクールサポーター」を配置し、GIGAスクール構想の円滑な導入を図る。 ②GIGAスクールサポーター配置に係る経費 ③木曾岬町教育委員会事務局	R2.11	R3.3	1,267,860	GIGAスクール構想の実現に向けて、GIGAスクールサポーターを配置したことで、コロナ過でも安心して学習ができる環境整備の促進が図られた。
13	補	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、学校設置者が実施する保健衛生用品等の整備に必要な経費を補助することにより、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する。 ②感染症対策のためのマスク等購入に係る経費 ③町内小中学校	R2.9	R3.3	141,145	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、マスク等の感染症対策用品を購入することにより、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進することができた。
14	補	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学校保障等に係る支援事業) ①感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、学校設置者が実施する取組に係る経費を補助することにより、学校における感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。 ②感染症対策のための消耗品・備品等の購入に係る経費 ③町内小中学校	R2.9	R3.3	2,013,597	感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、パーティション等を購入することにより、学校における感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進することができた。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (実績額)	事業の効果検証
15	単	町体育館空調改修事業	①3密対策を実施したより快適な空間の創造に向けて、町体育館空調機器の換気設備・冷房設備等の機能強化を図る。 ②空調設備の整備に向けた設計及び工事に係る経費 ③対象施設 木曽岬町体育館	R2.11	R3.2	44,581,900	町体育館空調機器の換気設備、冷房設備等の機能強化をしたことで、適切な換気等による3密対策が可能となった。
16	単	若者世代への臨時地域活性化事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている若者世代を対象に、生活支援と地域の活性化を目的として町独自の商品券を配布する。 ②町内在住の16歳～18歳までの若者世代145人に、町独自の商品券を配布する経費 ③町内在住の16歳～18歳までの若者世代145人	R2.10	R2.10	753,552	若者世代に対して商品券を配布したことで、若者世代への生活支援と町内の活性化を図ることができた。
17	補	公立学校情報機器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①GIGAスクール構想関連事業として、学校からの遠隔学習機能を強化するために必要な備品を購入する。 ②遠隔学習用の備品購入に係る経費 ③町内小・中学校	R2.12	R3.2	38,280	GIGAスクール構想の実現に向けて、遠隔学習用の備品を購入したことで、コロナ過でも安心して学習ができる環境整備の促進が図られた。
18	単	小中学校タブレット端末購入事業	①GIGAスクール構想において、国庫補助事業で整備するタブレット端末に地方単独事業で追加で購入し、全生徒へタブレット端末を配備する。 ②地方単独で追加のタブレット端末購入に係る経費 ③町内小・中学校生徒	R2.11	R3.3	15,048,000	GIGAスクール構想の実現に向けて、タブレット端末を購入したことで、コロナ過でも安心して学習ができる環境整備の促進が図られた。
19	単	GIGAスクール整備事業	①GIGAスクール構想実現に向け、タブレット端末の付属消耗品及び保守委託料、システム使用料を町単独で支払う。 ②タブレット端末付属消耗品、保守委託料、システム使用料の支払いに係る経費 ③町内小・中学校生徒	R2.11	R3.3	2,572,240	GIGAスクール構想の実現に向けて、タブレット端末付属消耗品等を購入したことで、コロナ過でも安心して学習ができる環境整備の促進が図られた。
20	単	GIGAスクール構想付属備品購入事業	①GIGAスクール構想実現に向け、町単独で付属備品を購入し、事業の充実を図る。 ②タブレット用プロジェクターの購入に係る経費 ③町内小・中学校	R2.11	R3.3	4,382,400	GIGAスクール構想の実現に向けて、プロジェクターを購入したことで、コロナ過でも安心して学習ができる環境整備の促進が図られた。
22	単	高齢者インフルエンザ予防接種個人負担額無償化事業	①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行を懸念し、高齢者インフルエンザ予防接種の個人負担額を無料とする。 ②医療機関への予防接種委託料及び個人に対する予防接種補助金 ③町内在住の65才以上の高齢者	R2.10	R3.1	2,154,050	高齢者のインフルエンザ予防接種の個人負担額を無料化したことで、医療体制のひっ迫の抑制を図ることができた。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (実績額)	事業の効果検証
23	単	診療体制整備支援負担金	①季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時流行した場合においても、できるだけ多くの発熱患者が適切に診察を受けることができるよう、町内医療機関の診察体制の確保を支援する。 ②診療体制整備支援負担金 ③桑名医師会	R2.11	R3.3	1,540,000	医師会に対して支援金を給付したことで、適切な医療を受けられる地域医療体制を維持することができた。
24	補	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等支援事業の学校教育活動継続支援事業) ①感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校設置者が実施する取組に係る経費を補助することにより、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。 ②感染症対策のための消耗品・備品等の購入に係る経費 ③町内小・中学校	R3.2	R3.3	1,603,456	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、感染症対策用品を購入したことにより、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童及び生徒の学びの保障をする体制の整備を促進することができた。
25	単	行政IT化事業	①庁舎で使用中の既存端末について、行政IT化に向けた機能強化として端末の更新を行い、行政手続きにおける電子処理化の実現に向けた環境整備を実施する。 ②既存端末の更新に係る経費 ③木曾岬町役場	R2.9	R2.11	2,782,450	PCの更新をしたことで、行政IT化に向けた機能強化を図ることができた。